

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

<p>達人名</p>	<p>雷門 幸福 先生（落語の達人）</p>
<p>実施校</p>	<p>尾張旭市立本地原小学校</p>
<p>実施日</p>	<p>平成20年10月21日（火曜日）</p>
<p>実施学級</p>	<p>5年（108人）</p>
<p>授業の実際</p>	<div data-bbox="561 376 1246 887" data-label="Image"> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 教師による達人の紹介。 2 達人の芸に触れる。・・・・落語（達人）寿限無 3 達人が工夫しているところを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 後ろの人にまで届くように、大きな声で話をしている。 ・ 今、社会で話題になっていることを取り入れている。 ・ 話すときの視線は、やや上気味で、遠くを見ている。 4 落語体験をする。 <ul style="list-style-type: none"> 幸福さんの見本を見る。 （さしみを食べる・うなぎを捕まえる・そばを食べる所作） そばを食べるところを練習する。 発表する。 5 達人に質問する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ、落語家になったのか。 ・ 初めて披露した落語は何か。 ・ 落語をしていて、つらいことは何か。 6 お礼の言葉 <div data-bbox="1027 1339 1331 1563" data-label="Image"> </div>
<p>児童の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ とてもおもしろくて、またこのような授業を受けたいと思った。 ・ 色々なことを手や扇子、手ぬぐいで表現していておもしろかった。 ・ テレビの落語はあまりおもしろくないけど、生で見る落語は、おもしろかった。 ・ 実際にはないけれど、そこにあるかのように表現しているのがおもしろかった。顔の表情も大切だということがわかった。
<p>教師の感想</p>	<p>授業後のアンケートでは、95%近くの児童が「とてもよかった」と答えている。児童は、落語を聞くだけでなく、所作を体験したことも楽しかったようである。その点でも、今回の流れはよかった。生の落語を聞くという体験はなかなかできないので、機会があればまたこのような授業を計画していきたい。</p>

